

千葉県一プログラム 1 班旗立て「わが旗かざし」

1. プログラムの概要

タイトル	班旗立て「わが旗かざし」
プログラム方式	班対抗のタイムトライアル
プログラム概要	班旗を用意された材料を用いて高く自立させる（3m以上）
プログラムのねらい	①チームワーク、協力 ②身につけた結索の実践
参加対象・単位	ボーイスカウト（班単位）

2. プログラムの実施条件

実施場所	指定された場所（約 10m×10m もしくは直径 10m の競技エリア）
参加班の人数	5 人以上 8 人以下 ※実際の班の状況を考慮し 5 人未満での参加も可能とします。 ただし単独の班では競技を進めるうえで必要と考える人数に満たない場合は、2 個班以上で組織される「合同班」での参加も可能です。合同班の場合、合計人数は 8 人以下とします。 （班員の数の違いによるハンデはありません）
プログラム所要時間	約 45 分（準備、後片付け含む。うち競技時間は約 25 分）

3. プログラムの準備

班の持参品	①班旗（普段使用しているものを班旗棒から外して使用） ②ハンマー×1（ペグ打ち用）
主催者準備品	①班旗棒：竹（長さ約 1.5m）×3 本 ②棒と棒を縛るひも（約 1m）×3 本 ③張り綱（約 5m）×4 本 ④ペグ×4 本 ※班旗の高さ計測用の 3m の棒

4. プログラム内容

（1）競技のルール

- ① 3本の班旗棒をひもで縛ってつなぎ合わせた「班旗」を作って自立させ、その速さを競う競技です。(班旗は棒の上端に取り付ける)
- ② 競技は、競技エリアの中で行われます。スカウトはエリア外に出てもかまいませんが、出来上がった班旗(棒、ペグ)は、競技エリア外にはみ出してはいけません。
- ③ 繫いだ班旗の高さは3m以上とします。(班旗の接地点から班旗棒の上端まで)
- ④ 張り綱とペグは4セット用意されますが、いくつ使用するかは班が決めます。
- ⑤ 棒をつなぐ、ペグに張り綱を掛ける、ロープ同士をつなぐ…に使用する「結び」の種類は任意とします。(基本はボーイスカウト部門の進級課目にある結びとします)
- ⑥ 「完成宣言(できました!)」から15秒間自立(スカウトが手を離れた状態)して、競技終了。
15秒間自立しなかった場合はそこから修正します。
- ⑦ 競技終了後に高さの確認をして、基準を満たせば「合格」となります。
- ⑧ 競技の制限時間は25分間。(時間内に⑦高さの確認に至らなかった場合は失格)
- ⑨ 「スタート」の合図から⑥の競技終了までの所要時間を競い合います。

(2) 競技の進め方

- ① 参加班は競技エリアの外に整列し、最初に危険予知を行い、手袋を着用する。(危険予知の方法は事前に隊で教わっておく)
- ② そして、競技エリアに隣接したスタート位置に移動します。
- ③ 『スタート』の合図で班旗立てに取りかかり、計時がスタートします。
- ④ 全スカウトが手を離れた状態で「完成宣言(できました!)」したら、そこから15秒間の自立を審判が確認します。
- ⑤ 15秒間自立したら直ちに高さを確認し、クリアしたら計時がストップし、記録が確定します。
- ⑥ 参加班は後片付けと原状回復(全ての資材を貸与される前の状態に戻しペグ穴を埋める)を行い、①の位置に整列します。
- ⑦ 所要時間が書かれた成績書が渡されます。整列し「礼」をして、プログラムが終了です。持参したものを持って帰ります。

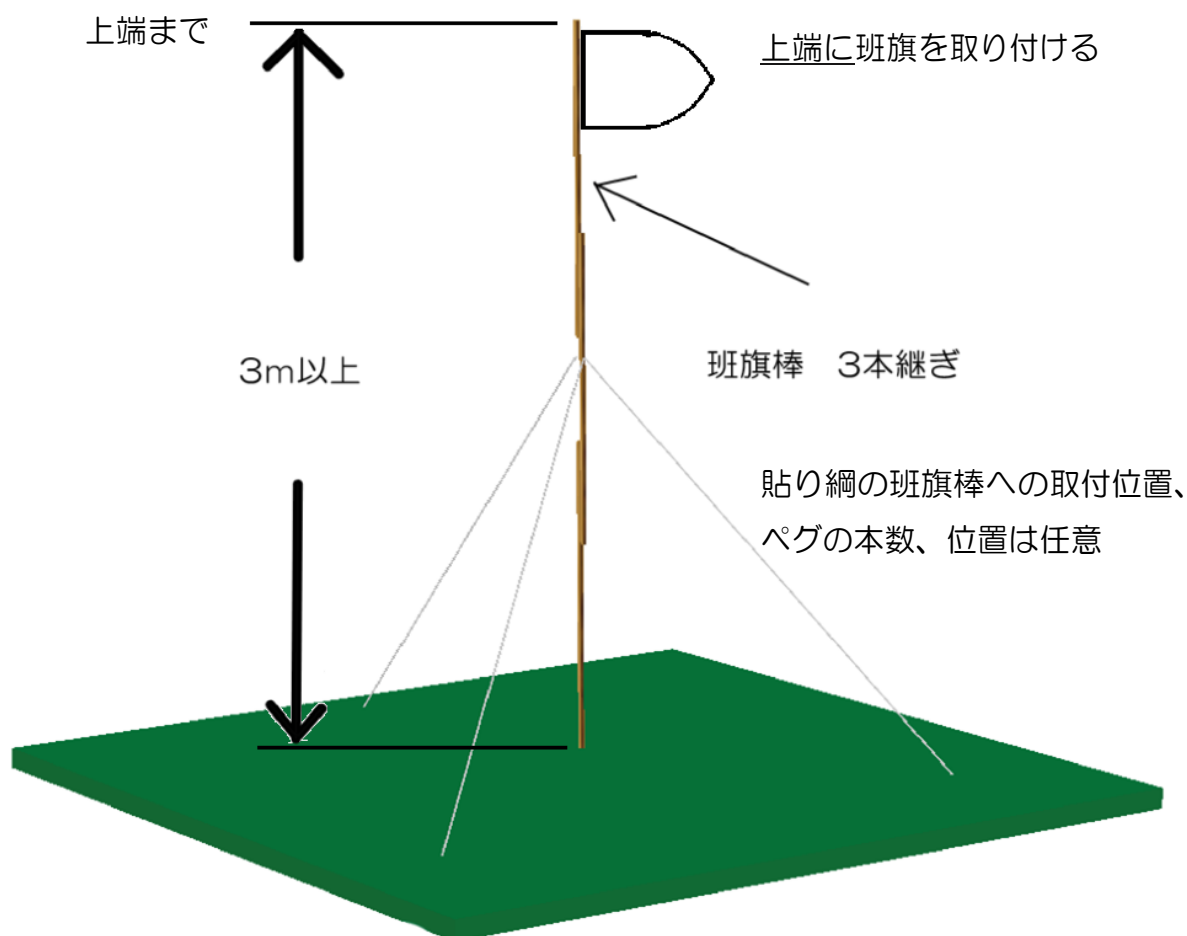
※ 結びの種類や貼り綱を何本にするかは参加班で考えます。

このプログラムに使用する最適な「結び」を班として選び、貼り綱の本数による安定性と作業時間とを比較して戦略を練り、それらを事前に十分に練習してやることをねらっています。

(3) タイムスケジュール

経過時間	所要時間	プログラムの流れ	内 容
0:00	10 分	資材準備	資材を整える
		競技の説明	ルールと進め方を説明する
		競技エリアへ移動	スタートの合図を待つ
10:00	25 分	競技スタート	競技に取りかかる
		完成宣言	完成したら「できました」
		競技終了	自立 15 秒と高さの確認がとれた時点で計時がストップ
35:00	10 分	後片付け・整列 成績書の交付	班旗を解体し、材料をもとあった場所に戻し、競技エリアの原状回復をする。成績書が渡される
45:00		解散	

5. 完成イメージ図



以上